

1 プロジェクト概要

【目的】

- ごみに関わる環境問題の解決
- 安定的なごみ処理体制の構築

【実施期間】

2022 (R4)年7月
~2024 (R6) 年3月

【取組の方向性】

- 取組主体 (市民・事業者・市) ごとに減量のターゲットとなるごみ種を設定
- 様々な媒体を活用してごみの4R運動を推進
- 市民の行動変容を促す新しい手法 (企業連携・見える化等) を導入



『ゴルゴ13』とコラボレーションしたポスター

©さいとうたかを / さいとう・プロダクション

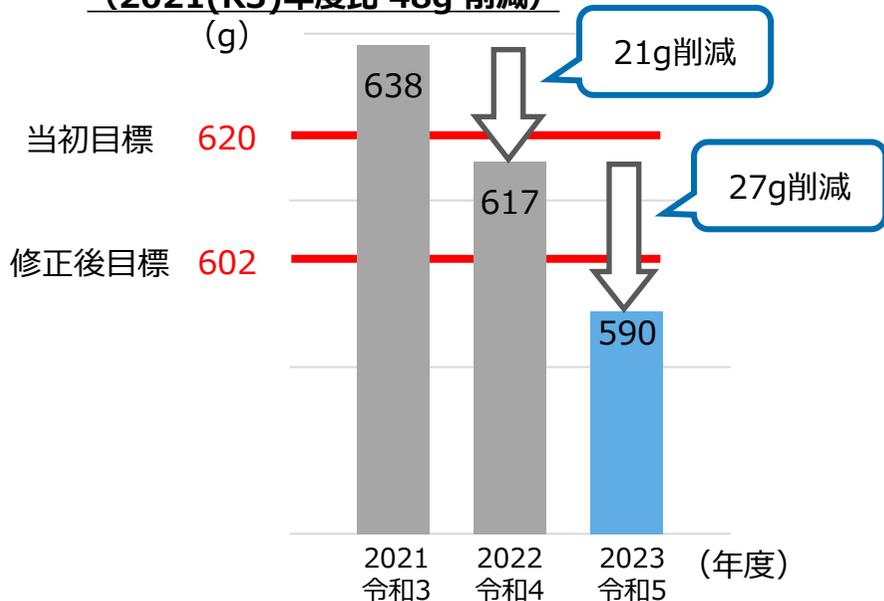
2 ごみ減量状況

市民・事業者の皆様の協力によって大幅にごみ減量が進み、2022 (R4)年度に引き続き、2023 (R5)年度も目標を達成

【1人1日あたり家庭系ごみ排出量】

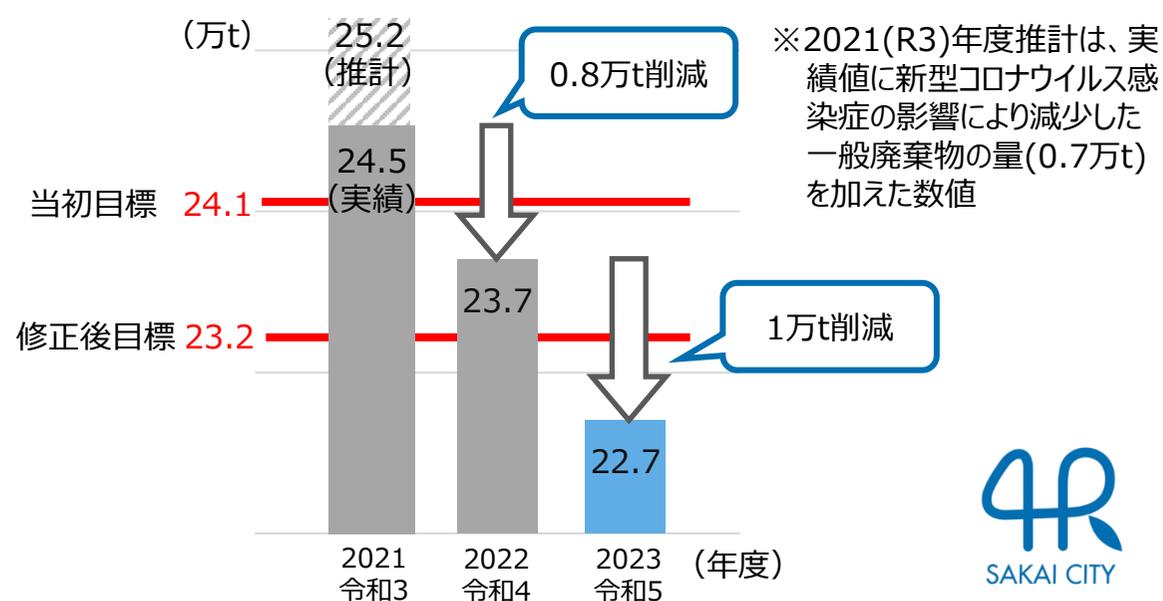
2023 (R5) 年度実績 590g

(2021(R3)年度比 48g 削減)



【清掃工場搬入量】

2023 (R5) 年度実績 22.7万t (2021(R3)年度比 1.8万t 削減)



3 主な取組と実績

【情報発信の強化】

- ポスター、リーフレット、のぼり旗等を活用して、4Rの具体的な行動に関する情報発信を強化
- 体験型イベント「4RアクションDAY」、食材の端材やリメイク料理のレシピの募集・販売をした「エコレシピコンテスト」等のイベントを開催
- Microsoft Power BIを用いて、本市ホームページで目標達成状況を毎月公開（ごみ減量状況の見える化）

【企業との連携】 ※事業開始から2024（R6）年3月までの実績

• Reduceに関する連携事業

フードシェアリングサービス「TABETE」の利用を促し、市内で計578食分の食品ロス削減

• Reuseに関する連携事業

- ① 清掃工場に粗大ごみとして搬入されたものや市が回収した子ども服をサイズごとにセットにした「ふくふく袋」を、地域情報サイト「ジモティー」を通じてリユース（粗大ごみ：計349品、2,482.8kg、子ども服：188kg）
- ② リユース品回収イベントを開催し、ECOMMITを通じて計1,521品（988kg）リユース

• Recycleに関する連携事業

宅配便でパソコン等の小型家電を回収する民間サービスの利用を促し、市内で計2,936件、35,040kg回収

【堺市独自の取組】

• 子ども服のリユース促進

市役所や区役所に「子ども服回収ボックス」を期間限定で設置し、イベント等で無償譲渡し、1,467kgリユース

• ペットボトルのリサイクル促進

住居形態別に正しい分別方法の周知や排出指導を実施し、残渣率を前年度比19.5%削減（2023（R5）年度下半期）

• 事業系古紙のリサイクル促進

2024（R6）年1月から事業所から出るリサイクル可能な紙類の清掃工場への搬入を禁止したことで、事業系一般廃棄物（焼却対象物）の清掃工場搬入量が前年度比7.2%減少（2024（R6）年1月～3月）



南海バスの車内広告



子ども服リユースイベント